

三宅島の現状（その65）

平成15年11月1日
三宅村災害対策本部

【気象及び火山活動状況】 10月13日から10月28日

今期間、晴れの日が多かったものの、14日、22日、28日には前線等の影響により大雨となりました。特に14日の午後から15日未明にかけては、短時間に激しい雨が降り大雨警報、および大雨臨時情報が発表となり、14日の降水量は伊豆地区で、199ミリが観測されました。

火山の活動状況は、24日に三宅島近海を震源とする有感地震があり、坪田地区で震度1を観測しました。噴煙の状況は、16日に白色の噴煙が火口上1,000mまであがっているのが確認されました。

火山ガス（SO₂）の放出量調査は、15日に警視庁の協力により、約3,000トン/日から約6,100トン/日を観測し、21日には東京消防庁の協力により、約6,100トン/日から約9,100トン/日を観測しました。

島内のガス濃度は（SO₂）は、2ppm以上を観測した日は、13日、18日、23日、29日で、今期間の最大値は13日の三宅島空港で7.9ppmを観測しました。

【深まりゆく秋】

三宅島も11月を迎え、日が短くなってきました。定期船の入港する頃はまだ夜が明けきらず薄明のなか船が港に入ってきます。この時期の帰宅事業、特に日帰り帰宅に参加される方は、まだ暗いうちからの作業となる事もあると思いますので、懐中電灯を持参するなど対策をされるのがよいでしょう。

また、島のあちこちで三宅の秋を代表する花を見ることができます。海辺でよく見かける黄色い花と白い葉裏の対比がきれいな「イソギク」や、「ノコンギク」は一週道路沿いでよく目にします。

冬支度始まった草木の中で可憐に咲く花には心を奪われ、一時の安らぎを与えてくれるのではないのでしょうか。

【滞在型および日帰り帰宅の実績】

（1）日帰り帰宅事業の実績

10月13日	坪田地区	船便条件付きのため中止
10月15日	坪田地区	船便条件付きのため中止
10月20日	阿古地区	参加者 37名
10月22日	阿古地区	船便条件付きのため中止

（2）滞在型帰宅事業の実績

10月10日から12日	伊豆伊ヶ谷地区	参加者 62名
10月13日から16日	坪田地区	参加者 84名
10月17日から19日	坪田地区	参加者 68名
10月20日から23日	阿古地区	参加者 78名
10月24日から26日	阿古地区	台風17号接近のため中止

（問い合わせ先：三宅村災害対策本部 電話 04994-6-1549）

- A** 現時点で長期的影響の目安に達している観測点
- B** 現時点で長期的影響の目安に概ね達しているが、今後の推移を注意深く見守る必要がある観測点
- C** 現時点で長期的影響の目安に達していない観測点
- 現時点で長期的影響の目安に達している観測点であるが、高感受性者が注意を要する月平均時間(分)

三宅支庁		
長期	年平均値(ppm)	0.05
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	7.0
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	2,218
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	1,217
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	131
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	1

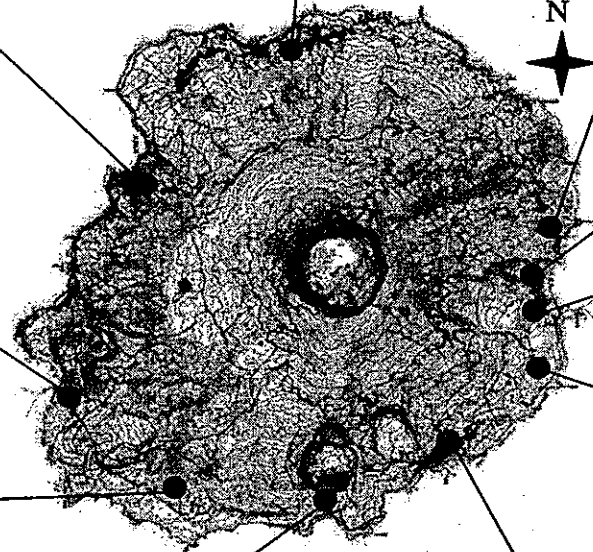
三宅支庁		
長期	年平均値(ppm)	0.01
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	1.8
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	493
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	175
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	6
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	0

逢の浜温泉		
長期	年平均値(ppm)	0.15
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	18.7
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	5,198
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	2,450
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	842
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	78

三宅消防器具置場		
長期	年平均値(ppm)	0.24
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	27.7
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	9,231
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	5,073
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	1,118
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	139

三宅支庁		
長期	年平均値(ppm)	0.04
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	7.4
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	2,127
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	1,006
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	108
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	1

三宅村役場		
長期	年平均値(ppm)	0.29
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	24.3
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	8,791
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	6,483
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	1,644
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	218



薄木生コン工場		
長期	年平均値(ppm)	0.14
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	18.6
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	4,936
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	2,880
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	461
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	16

アカコッコ館		
長期	年平均値(ppm)	0.03
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	6.0
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	520
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	577
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	76
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	4

坪田公民館		
長期	年平均値(ppm)	0.02
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	2.7
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	634
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	285
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	46
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	3

三宅島空港		
長期	年平均値(ppm)	0.17
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	17.7
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	6,091
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	4,217
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	744
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	68

* データは平成14年10月1日から平成15年9月30日まで。

二酸化硫黄濃度の目安に照らした各観測点の状況

濃度 (ppm)

0.60

0.50

0.40

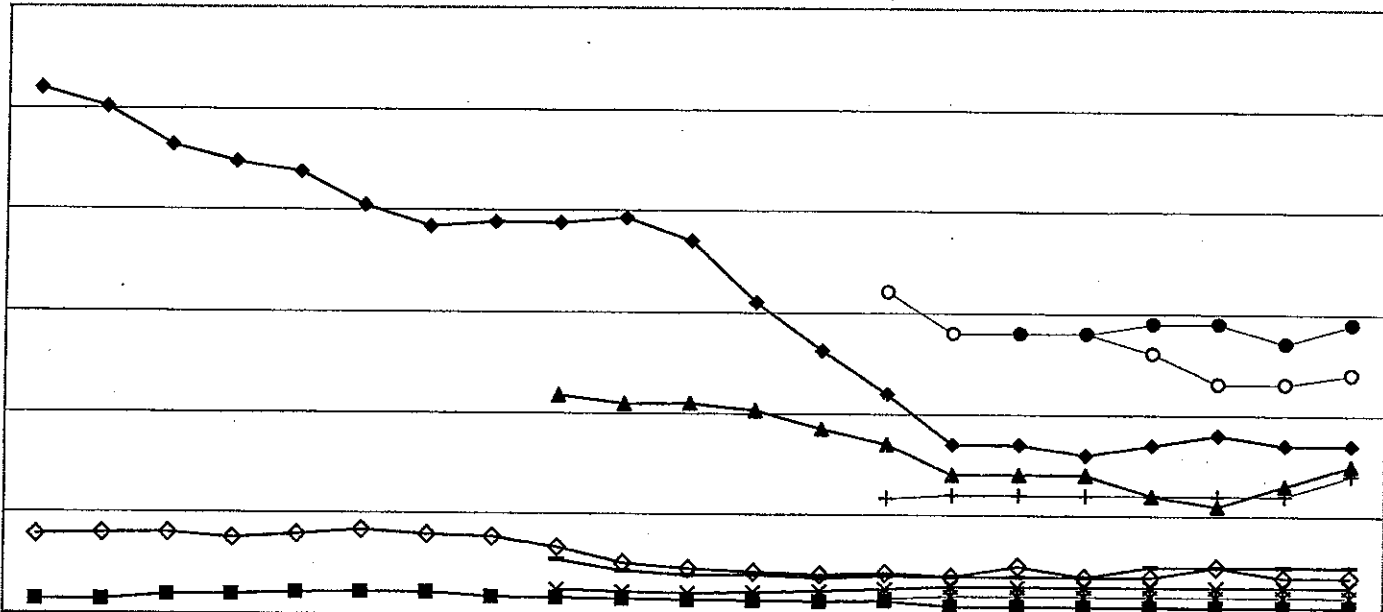
0.30

0.20

0.10

0.00

期間



期間	13.2-14.1	13.3-14.2	13.4-14.3	13.5-14.4	13.6-14.5	13.7-14.6	13.8-14.7	13.9-14.8	13.10-14.9	13.11-14.10	13.12-14.11	14.1-14.12	14.2-15.1	14.3-15.2	14.4-15.3	14.5-15.4	14.6-15.5	14.7-15.6	14.8-15.7	14.9-15.8	14.10-15.9
----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-------------	-------------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------

三宅支庁	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
逢の浜温泉									0.22	0.21	0.21	0.20	0.18	0.17	0.14	0.14	0.14	0.12	0.11	0.13	0.15	
三池消防器具置場														0.32	0.28	0.28	0.28	0.26	0.23	0.23	0.24	
三宅島空港	0.52	0.50	0.46	0.45	0.44	0.40	0.38	0.39	0.39	0.39	0.37	0.31	0.26	0.22	0.17	0.17	0.16	0.17	0.18	0.17	0.17	
坪田公民館														0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
アカコッコ館									0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
薄木生コン工場														0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.14	
阿古船客待合所	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	
伊ヶ谷老人福祉館									0.06	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	
三宅村役場																0.28	0.28	0.29	0.29	0.27	0.29	

火山ガスと健康影響に関する Q&A

Q 「短期的影響」とはどんなことですか教えて？

A 短期影響とは、短時間に高濃度の二酸化硫黄を吸いこむことで、身体に生じる影響のことをいいます。

現在、三宅島での二酸化硫黄の濃度は常に一定ではなく、急激な濃度変化を起こすことがあります。濃い二酸化硫黄を吸い込めば、呼吸が苦しくなり、生命に関わる重大な影響を及ぼす可能性があります。

短期的影響を最小限に抑えるためには、直にガスマスクを着用したり、低濃度地域や避難施設に避難するなど、避難行動を迅速に実行しなくてはなりません。



Q 短期的影響についての二酸化硫黄濃度の目安とその時の行動はどうしたらいいの？

A 「三宅島火山ガスに関する検討会」の報告書の中で、二酸化硫黄が短期的影響を与える濃度は個人差を考慮し「一般の人」と「感受性の高い人」に分けて目安となる濃度を提示しています。

「感受性の高い人」

0.2ppm・・・ 「感受性が高い人」の中には個人差があります。感受性が大変高い場合には、喘息発作等の健康影響リスクが高くなります。屋内に入り、呼吸器症状が出るようでしたらガスマスクを着用します。

0.6ppm・・・ この濃度を超えると、喘息発作等の健康影響のリスクが高くなります。呼吸器症状の有無にかかわらずガスマスクを着用し、低濃度地域や避難施設への避難が必要です。



「一般の人」

2.0ppm・・・ せきやたんが出たり、目がチカチカしたり、健康への影響が出始めます。屋内に入り、呼吸器症状が出るようでしたらガスマスクを着用します。

5.0ppm・・・ この濃度を超えると健康へ重大な影響を及ぼす可能性があります。呼吸器症状の有無にかかわらずガスマスクを着用し、低濃度地域や避難施設への避難が必要です。

尚、「要援護者」は濃度に関わらず、影響を感じたらガスマスクを着用し、低濃度地域や避難施設への避難が必要です。

また、この目安の濃度に関わらず、影響を感じた場合には早めの避難行動をとる事が大切です。

※ 二酸化硫黄濃度が上昇した場合の島民の詳しい行動は、現在「三宅村火山ガス安全対策」の中で検討中です。



三宅村議会 視察日誌

早くも十一月を迎え、昨日

(平成十五年十月三十一日発行)

と寒さを感じるこの頃ですが、

日頃役場職員ローテーション、

島民の皆様は、健勝にお過ごし

業者等が寝泊りする環境を体

のじやと思えます。

験する事も、視察の一つとした

三宅村議会では、三宅島噴火

しました。

災害復興対策特別委員会活動

午前八時マイクロバスに乗り

の一環として、十月十八日(土)、

込み、坪田から阿古方面へ回る

十九日(日)の二日間を渡して、

コースを取り、釜方天皇十場が

三宅島内の視察調査を行い、

らスタートし、主に公共施設・

島内に滞在し、作業をされている

農漁業関係を見て回りました。

る島民の方との懇談会も行い

公共施設においては、各地区

ましたので、今回はその一部を

の小中学校・保育園を見て周り

い報告いたしましたと思います。

ましたが、施設整備担当課長の

◇ ◇ ◇

随行により施設内も調査する

今回の視察は、役場のクレー

事ができました。

ンルームに泊る予定で行い、

外観からは中の様子をつか

がい知る事ができませんが、内

魚業関係では、阿古漁港の製

部を見回る事で改めて予想以

氷・蓄養・漁船倉庫等々の建物も

上の被害を受けている所、また

ひび割れや鉄筋の腐食、機械類

そうではない所と確認する事

の腐食も進んでいるように思

ができ、説明を受ける事で調査

えます。各地区の天皇十場も、

の認識度が高まりました。共通

泥流等の被害も合わせて受け

して被害の種類は、主に雨漏り、

ているようです。

錆や腐食、それらに伴う壁や天

農業関係では、風向きによつ

井の落下、白蟻等のようです。

て火山ガスの流れくる所と

小中学校では、どのグラウンドも

来ない所の違いを、比較できる

火山灰の堆積と雑草が目につ

ような場所を選び調査いたし

きました。

ました。

薄木地区の農地では、パイプ

ハウスの腐食や草木が半枯れ

状態でしたが、西原地区では、

農地を竹やカヤが覆っていて、

被害の状態に大きな違いがあ



るようです。

こうした農地の被害の反面

農林合同庁などは農地では

里芋等の植え付けが試験的に

行われており、時期的にまだ早

かった事もあります。確かに

里芋が育っている様子を拝見し

ました。



このまま梅雨に生育し、収穫の

時期には沢山の里芋が採れる

事を期待したいと思えます。

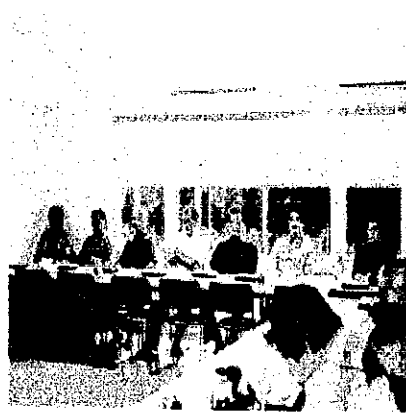
○島内作業者・避難施設従事

者への懇談会

避難施設では昼食を取りな

がらの懇談会となり、十四名の

方の出席をいただきました。



◎必ずしも口曜日にも休みが取

れない。平日もクワシエーシヨ

ンペル、釣ひがきものエイトお願

いする。(懇談会中)

◎帰島前に土作りをすべしと

ある。農業士への希望を持たせる

方策を考えて欲しい。

◎議会と、この様な機会を多く

していただきたい。

約一時間程の短い時間では

ありましたが、活発なご意見

を、沢山いただきました。

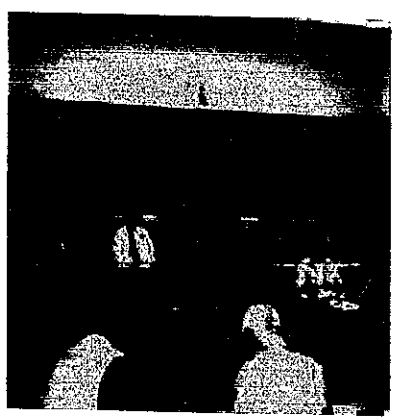
島内作業者とは、午後五時か

ら役場三階議場での懇談会と

なりました。作業がある中で、

十一名の方の出席をいただき

ました。



◎宿舎不足の改善策を求める。

◎民泊再開についての配慮を。

また、食材の共同購入について

は地元業者活用の指導を。

◎滞在型で来た人達よりも現

地で働いている人の健康聞き

取り調査はしないのか。

◎危険を感じずに行われるの

は、脱硫装置やマスクがあり、

健康者は少し走って逃げれば

安全。高齢者等については危険

である。

この他にも沢山の意見を

いただきました。機会ももう一

つと、この様な場を設けて参ら

たいと思っておりますので、皆

様の声を聴かせてください。

平成15年10月28日
気 象 庁

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会統一見解

三宅島の火山活動は、全体としてゆっくりと低下してきていますが、最近1年程度は低下の割合が緩慢になっています。火山ガスの放出は当面続くと考えられます。

三宅島の山頂火口からの噴煙高度および火山ガスの放出量は長期的には低下してきています。そのうち、二酸化硫黄についても、放出量はゆっくりと減少してきましたが、最近1年程度は、1日あたり3千～1万トン程度と概ね横ばい傾向となっています。火山ガスの組成に顕著な変化は依然認められず、マグマ中のガス成分濃度や脱ガスの条件などに大きな変化はないと考えられます。放熱率も最近1年程度顕著な変動は認められず、ほぼ同じ水準を維持しています。

火山灰の放出を伴う噴火は2002（平成14）年11月24日の小噴火以来観測されていません。

全磁力観測からは、山頂火口直下の温度は長期的には低下していることが推定されますが、その変化は緩慢です。火口内の表面温度も、長期的に低下しています。

連続的に発生している火山性微動の振幅は長期的には小さくなっています。山頂直下の火山性地震の活動は継続しています。

活動の開始以来観測されてきた三宅島の収縮を示す地殻変動は、2002（平成14）年8月頃から停止していましたが、2003（平成15）年6月頃から再び収縮傾向となっています。

以上のように、三宅島の火山活動は、全体としてゆっくりと低下してきていますが、最近1年程度は低下の割合が緩慢になっています。

三宅島では、今後も局所的に高い二酸化硫黄濃度が観測されることもありますので、風下に当たる地区では引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。また、雨による泥流にも引き続き注意が必要です。

平成 15 年 11 月 1 日

三 宅 村

『火山ガスと健康影響』 の説明会開催について

三宅村では、『三宅島火山ガスに関する検討会報告』についての説明会を行ってきました。

この報告書は、帰島のためには大変重要なものであり、島民一人ひとりが確実に内容を理解していただかなくてはなりません。

現在、三宅村では『慶應義塾大学医学部』の先生方のご協力により、『火山ガスと健康影響』について、多くの島民に理解して頂くことを目的とした説明会を各所において開催しているところです。

しかし、説明会に出たくても仕事などの都合で参加できない方が多い為、『火山ガスと健康影響』についての説明会を開催いたしますので、参加されていない方など、この機会を是非ご利用下さい。また、中学生や高校生方の参加もお待ちしております。高齢者など身体の具合で参加できない方で、希望があれば個別に説明させていただきますので、保健福祉課までご連絡下さい。

なお、各避難先の集会などで説明会の要望がありましたら、ご連絡ください。

※ 説明会の開催日程については、裏面をご覧ください。

説明会の日程について

11月29日(土)

北 区 10時00分～11時30分

場 所 桐ヶ丘三宅島ボランティア会事務所
(2階集会所)

八王子市 14時00分～15時30分

場 所 南大沢保健福祉センター

11月30日(日)

武蔵村山市 10時00分～11時30分

場 所 都営住宅村山団地北集会所

東京都庁 14時00分～15時30分

場 所 第一本庁舎25階
(115会議室)

三宅村新宿総合事務所

担 当 復興計画担当課 池田・曾我部・沖山
保健福祉課 佐久間(内45—630)

電 話 03(5320)7826

F A X 03(5388)1603

元気でお会いしましょう!

第7回 三宅島島民 ふれあい集会

2003年11月24日(月・振替休日)10:30~15:30

港区立芝浦小学校・幼稚園

ステージイベント

10:30~12:40

- ◆ 神着木遣太鼓・伊ヶ谷獅子舞(予定)
- ◆ 三宅島災害・東京ボランティア支援センターからの応援メッセージ
- ◆ 東京都・三宅村からのメッセージ
- ◆ 島民発表会



島民作品展

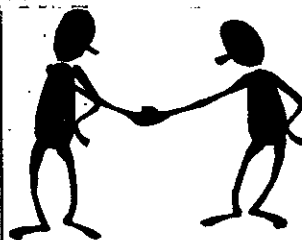
幼稚園 1F

- ◆ 島民発表会 ◆ 島民作品展
- ◆ 手芸体験コーナー
(高齢者支援センター)

体育館 プログラム

13:30~15:30

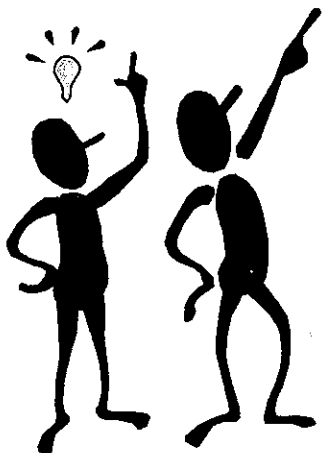
- ◆ 島民合唱団「アカコッコ」(予定)
- ◆ 東京都より(調整中) ◆ 三宅村より



校庭および校舎内各コーナー

- ◆ くさやらあしたば料理(島民有志)・おしろこ(三宅島会)
- ◆ つみれ汁(三宅八潮の会)・おいしいもの(東京都司厨士協会)ほか
- ◆ ペンシルバルーン・折り紙・ゲームなど(三宅村立小学校)
- ◆ 法律税務総合相談(三宅島サポート法律家グループ)
- ◆ 年金相談(三宅村・港社会保険事務所) ◆ 警察相談(警視庁三宅島警察署)
- ◆ 竹とんぼ手作り体験(沖電気・国際竹とんぼ協会・森永エンゼル財団)
- ◆ 指圧(日本赤十字都支部) ◆ さをり織り体験 ◆ ふれあいテント(都生協連)
- ◆ 三宅島火山灰利用の展示(都立産業技術研究所)・三宅ガラス(ダイエー)

ほか盛りだくさん



農場お薦めの一品

三宅島でのサトイモのもっとも素朴な食べ方の一つが、小芋を皮のまま茹で、皮をむきながら食べる「皮芋」です。サトイモ本来の風味をそのまま味わうことが出来、特に赤芽芋の独特の香りを楽しむには最適な食べ方のひとつでしょう。



「皮芋」に使う芋は、1週間ほど天日干しするのがお薦めです。こうすると実が締まって歯ごたえが良くなり、香りもより一層出てきます。

味の良いサトイモは、何も付けずに食べても美味しいのですが、三宅島では醤油や「酢味噌」に付けて食べるのが一般的です。この「酢味噌」は、初めて味わう方にも好評で、良く作り方を尋ねられますので、ここでご紹介します。

■酢味噌の作り方(約4人分)



- ・味噌：大さじ2
- ・砂糖：大さじ2
- ・酢：大さじ1.5
- ・ニラ(みじん切り)：少々

お好みに「うまみ調味料」や「ショウガすりのおろし」を加えます。

来場者紹介

【見学等】

- ・あじさいの里のみなさん(浅沼栄、浅沼クニ、浅沼チアキ、浅沼千恵、村上徳、野田藤子、高村ゆき子、野口ロク、平松とし子、宮沢喜美、平野武雄、平野芳枝、手島久晴、手島マヤコ、関口芳枝、元木正春、笹本久昭、水原光夫、肥後玲子、村上久子)
- ・神着駐在所(警察官) 沼上恒雄さん
- ・伊豆駐在所(警察官) 金廣美喜夫さん
- ・阿古駐在所(警察官) 西島孝さん
- ・加藤正興さん(目黒区在住:神着)

- ・大崎興洋さん(東久留米在住:伊豆)
- ・島沢ちる子さん(練馬区在住:伊豆)
- ・三宅村シルバー人材センター 宮沢照彦さん

【取材等】

- ・日本大学大学生 杉山愛さん
- ・(社)日本建築学会 山口忠志さん
- ・家の光 山上淳さん、魚谷昌宏さん

(順不同)

げんき農場へ来るには

JR八王子駅北口『12番』乗り場、または京王八王子駅『4番』乗り場より、『稲荷坂下』バス停で下車徒歩約10分。「ひよどり山中学校」のすぐそばです。

※ 両乗り場とも「純心女子学園」行きは2系統ありますので、「稲荷坂下」を通るか乗車の際にお尋ねください。

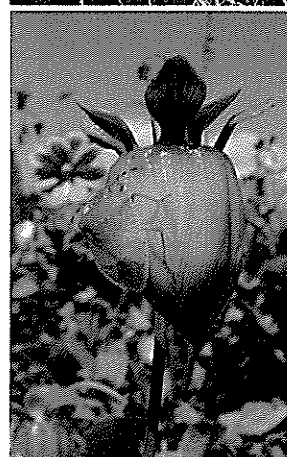
三宅島「げんき農場」だよりのバックナンバーはインターネットで見ることが出来ます。三宅島のホームページ「村民のひろば」の「げんき農場情報」をお訪ねください。

「村民のひろば」アドレス: http://www.miyakemura.com/hiroba_index.htm

三宅島「げんき農場」だより

発行元 三宅島げんき農場
所在地 八王子市宇津木町236-1
Tel&Fax: 0426 - 27 - 4355
e-mail: genki-farm@nifty.com

実りの情報



げんき農場は、秋の収穫の最盛期を迎えました。10月早々から、サトイモ、サツマイモ、アシタバなど、各地のイベントへの出荷が続いています。収穫の喜びは勿論のこと、訪れた人たちに日頃の感謝を込めて渡す充実感は得難い経験と言えるでしょう。げんき農場の存在を改めて知る昨今です。

サツマイモ畑やサトイモ畑などは、収穫が終わるにつれて徐々に空になっていきます。一方、アシタバ畑だけは、大きなイベント向けに大量に収穫しても、数日後には次の新芽が育ち、緑が無くなることはありません。やはりさすがは「明日葉」と言ったところですね。

ところが今年9月の猛暑には、そのさすがのアシタバもぐったりでした。一時は秋の収穫が激減するのではと心配しましたが、10月に入ってから回復し、元気を取り戻しています。

10月は一般的に収穫物の少ない時期です。サツマイモ、サトイモとも成長期でまだ未熟な状態です。収量も味もあまり期待できません。その中での今年の主役は「ヒボジロ」でした。これは一昨年、三宅島から農場に持ち込み増殖している早生サトイモです。一株当りの小芋の収量は1.7kgで、これは同時に掘った他の品種の約3倍もの収量でした。

勿論、げんき農場の主役、三宅島赤芽芋も順調に生育しています。今年は1ヘクタール近い作付け面積となり、11月中旬からの収穫に期待しています。



秋のイベント情報

いよいよ秋の本格的な出荷の季節がやってきました。10月中に場員が参加した主なイベントを、今後の予定と合せてご紹介します。

10月5日(日)、都立木場公園のイベント広場で開催された「木と暮らしのふれあい展」に参加しました。公園内のイベント広場には25ほどのテントが張られ、都内の森林・木材関係の各種団体による展示即売や、都民の木工体験など、晴天にも恵まれ沢山の人が賑わっていました。

三宅島コーナーでは、げんき農場で生産したサトイモやサツマイモ、ゆめ農園の鉢花の無料配布、三宅村商工会の展示即売を行ないました。配布時間が近づくと、徐々に列が伸び、三宅島の職員が整理に汗を流す光景も見られました。

来場者からは、三宅島の近況や帰島の見通しについての質問や励ましの言葉を頂き、参加した場員を元気づけてくれました。



10月8日(水)・9日(木)の2日間、八王子の都立産業技術研究所で恒例の施設一般公開が行なわれました。今年は同研究所の本館2階の全フロアを、三宅島コーナーとして利用させて頂くことになりました。三宅村商工会による火山灰プリントの体験コーナーや各種展示即売コーナーと、げんき農場からはサトイモ、サツマイモ、アシタバ、ウコン切り干しの無料配布や農産物の展示などを行ないました。

来場者は、まず会場に展示された三宅島特産の赤芽芋の大きな株に目を奪われていました。その都度場員が丁寧に説明をすると、皆さん熱心に耳を傾けていました。

場所柄、染色や織物に興味を持つ学生の姿が多く見られ、農場の無料配布コーナーでは、サトイモ、サツマイモ、アシタバからひとつを選ぶのに迷った女子学生が、携帯電話で母親に相談する微笑ましい光景も見られました。



10月19日(日)、「第12回大田市場まつり」が東京都中央卸売市場大田市場で開催され、東京都特産品コーナーにてげんき農場のサトイモを無料配布しました。

当日は会場いっぱいにお祭りムードが広がり、青果物の販売コーナーや鮮魚のさばき方教室の前は多くの来場者で賑わいました。東京都特産品コーナーではげんき農場で生産したサトイモのほか、都内産緑化苗木(寒ツバキ、サザンカ等)の無料配布、都内産野菜類の即売が行なわれました。

げんき農場の無料配布では定刻前から長い列ができ、瞬間に予定の量の配布を終了しました。ここでも三宅島の近況やげんき農場の状況についての質問が多く、関心の深さを感じさせました。



- 11/1(土)：八王子技術専門校技能祭
- 11/2(日)・3(月)：アグリフェスタトウキョウ32 (明治神宮宝物殿前広場)
- 11/2(日)・3(月)：くにたち市民まつり (国立市大学通り)
- 11/8(土)・9(日)：JA八王子農業祭 (八王子富士森公園) <展示のみ。配布はありません>

場員のページ



平野 和子
(八王子市別所在住：阿古)

9月からまた、げんき農場に通っています。一昨年も3ヶ月ほどお世話になりました。

前回、農場で働いているとき、利島農協から欠員補充のお誘いを受け、私で役に立つならとお世話になる決心をしました。宮本前組合長さんを始め、職員の皆さん、島民の方々には「島の情」で接していただき、やりがいのある楽しい1年2ヶ月を過ごすことが出来ました。その臨時の任務を経て戻ってきましたが、色々な思い出を頂き、「生涯忘れられない利島」となりました。

10月からは一般の場員として再度げんき農場で働かせて頂くことになりました。場の皆様には前回同様に、お引き回しくださいますようお願い致します。

秋の取り入れが始まり、毎日が感激の楽しい時期、私も一所懸命に頑張りたいと思います。

♪「島歌替え歌」

いつになるのか 三宅のガスよ
帰りたいけど 帰れない

三宅離れて 早三年
先の見えない悲しさよ

げんき農場で働く仲間
顔に吹き出る 玉の汗

色鮮やかな 野菜を作り
心和める 農場よ

アカコッコ 緑の島で
早く帰れと 鳴いている



川口 藤子
(武蔵村山市在住：伊豆)

10月からげんき農場の仲間入りをしました。まだ教えるほどしか出勤していませんが、農場の空気も景色も心地よく、三宅の人達とも会えるので、三宅島にいるような気持ちになります。

島では自動車整備工場に勤める主人と、3人の子供と暮らしていました。その子供達も一人を残して独立し、避難生活の長さをしみじみ感じています。

島では畑仕事の経験もなく、土いじりは初めてで、げんき農場での作業は全てが新鮮です。何より、皆さんの年齢を感じさせない元気な姿には驚きました。そのパワーを少し分けてもらい、これから頑張っていきたいと思います。

また、このような立派な農場で働かせて頂けることに、感謝の気持ちで一杯です。



福本 さよ子
(八王子市別所在住：阿古)